

広報

2009
(平成21年)



風かおる
人が輝き
躍動するまち

とままえ

6

No.574



まちひと百景

学社融合事業「田植え」

すっかり恒例となった、花井秀昭さんの水田での田植え体験。裸足での作業に「ヌルヌルする」「気持ち悪い」との声。徐々に馴れてくると、田植えのスピードも上がり、調子に乗ってバランスを崩し、転びそうになる子どもらも。農業の大変さと大切さを学ぶ貴重な時間。きっと心に残る。

- チャレンジデー2009…2
- フラワースマイル…3
- 植樹祭、学社融合事業…4～5
- 地域社会貢献事業、文芸…6
- ファイヤー通信…7
- 健康ばんざい…8
- まなびの情報…9
- 国民健康保険ガイド…10
- 国民年金…11
- 住まいる情報…12～13
- ちびっこギャラリー…14

まちの人口

人口/3,747人(男/1,749人:女/1,998人)
世帯数/1,667世帯 (5月31日現在)

URL:<http://www.town.tomamae.lg.jp>

苦前町好成绩ながらも惜敗！ チャレンジデー 2009

町民の皆様の御理解と御協力を頂いたチャレンジデー2009が5月27日(水)、無事終了いたしました。御協力ありがとうございました。

チャレンジデーは、毎年5月の最終水曜日の午前0時から午後9時までの間に15分以上の運動を行った人の参加率を競う住民参加型スポーツイベント。今年で7年目となり、これまでの成績は2勝4敗。

当日は早朝のラジオ体操から始まり、苦前中学校、苦前商業高校等の長縄飛びや午後7時からのストレッチ、バドミントン等に多くの町民が汗を流した。



今年度は苦前町が参加者2,771名、参加率73.0%、対戦相手の岡山県新庄村が参加者913名、参加率86.5%となり、残念ながら3度目の勝利とはならなかった。これで通算成績は2勝5敗。

スペシャルチャレンジの風車の町対決である岩手県葛巻町とは6回目の対決となり、参加者5,953名、参加率76.0%とこれも惜敗し、対戦成績は3勝3敗となった。

また、この日は、力昼海岸から豊浦海岸までの海岸線清掃である「クリーンアップ日本海」が各町内会や各種団体、企業等から約120人が参加して行われ、このボランティア清掃についても、チャレンジデーの参加率のアップに一役を担った。

対戦には敗れましたが町民参加型のスポーツイベントとして徐々に定着しつつあるチャレンジデー。これをきっかけに毎日15分間は体を動かす習慣をつけましょう。



苦前町消防団総合演習行われる

5月24日(日)午前10時から、平成21年度の苦前町消防団(小倉哲志団長)の総合演習が苦前町役場駐車場で執り行われた。式には約30人の来賓が参列し、苦前、古丹別、力昼の各分団員55人が総合演習を行った。

五反田副団長の開式宣言から始まり、服装点検、團団、機械器具点検、訓練例式に引き続き、力昼分団による小型ポンプ操法が行われ、号令とともに機敏な団員の動きは、日頃の訓練の成果を十分に発揮していた。

苦前市街を分列行進した後、苦前町農協倉庫の出火を想定し、模擬火災訓練が行われた。

町民の皆様、火災・災害のないまちづくりに努めましょう。



第38回さくらまつり

5月10日(日)午前11時から古丹別緑ヶ丘公園にて第38回さくらまつりが行われた。

当日は、前日の雨から一転して快晴となり、過去に桜が満開、天気がよく、風も穏やか、虫もいないといった4拍子揃ったのは記憶にないほど最高のさくら祭り日和となった。

会場では家族連れや知人同士など約1500人が訪れ、ジンギスカンなど焼くコンロを囲み、楽しいひとときを過ごしていた。

ステージでは子ども舞踊、歌謡ショー、カラオケ大会が行われ、来月札幌での本祭りに出場する地元のヨサコイソーランチーム苦前鱒萃会(りんすいかい)が恒例の演舞を披露。エネルギッシュな踊りが祭りを盛り上げた。



留萌管内少年東西対抗剣道大会・ 留萌管内少年少女個人選手権大会

5月10日(日)苫前中学校体育館で、留萌地方剣道連盟連絡協議会(清水陸留萌剣道連盟会長)主催の第46回留萌管内少年東西対抗剣道大会と第36回留萌管内少年少女個人選手権大会が開催された。

大会には小中学生104人が参加し、個人戦では、小学校2年生以下の部、3・4年生の部、5・6年生の部、中学生男子の部、女子の部に分かれて行われ、苫前剣道連盟(三上敏行会長)から小学校2年生以下の部に出場した坂川晃寛くんが3位、小学校5・6年生の部に出場した田中稜太くんが準優勝と入賞を果たした。

東西対抗戦(苫前以北を西軍、小平以南を東軍)では西軍が22勝14敗5分けで勝った。

応援に駆けつけた約150人の父母らはわが子らの試合に熱い声援を送っていた。



白熱した試合を行う少年剣士

苫前町商工会総会開催

5月20日(水)、午後2時から公民館にて苫前町商工会(菊地暢会長)の通常総会が開催された。総会には131人の会員のうち委任状を含め100人が出席し、菊地会長があいさつを行い事業計画、定款の一部改正など10件の議案を原案通り可決した。また役員改選が行われ、次のとおり新役員が選出された。

会長 菊地 暢
 副会長 西 裕正、阿部俊一
 理事 檜森正春、五反田久、青木和雄、能戸正夫、
 檜森光夫、菊池 浩、千葉勇一、渡部豊子、
 五十嵐勉、小倉哲志、奥瀬 聡、古谷和清
 監事 山本啓一、瀬川信昭 (敬称略)



公民館で開催された通常総会の様子

災害対応型自動販売機による 協働事業に関する協定

5月14日(木)13時30分から役場会議室にて、苫前町と北海道コカ・コーラボトリング(株)(角野中原社長)との間で「災害対応型自動販売機による協働事業に関する協定」に係る手交式が行われた。

この災害対応型自動販売機は搭載する電光掲示板を通じて、パソコンからの遠隔操作により文字情報を表示することが可能で、苫前町から、平常時には防災情報や地域情報を配信して地域住民の防災意識の高揚を図るとともに、緊急時には災害情報の配信や、自動販売機内の飲料水の無料提供を行うなど、行政の地域住民への情報サービスと地域防災強化を支援するものである。

本協定による災害対応型自動販売機の設置場所は次のとおり

- ・苫前町役場 1階ロビー
- ・苫前町公民館 1階ロビー

販売機前の点灯式で協定書を手に握手する
森町長(左)と上野岩見沢事業所長(右)



フラワースマイル事業行われる

～人KENまもる君も参加～

5月23日(土)午前10時から郷土資料館前で親子や老人クラブ会員など約50名が参加し、苫前町コミュニティ運動推進協議会(工藤博朋会長)主催のフラワースマイル事業が行われた。当日はあいにくの雨のため、予定していた苫前小学校前の「古代ロマンロード」と古丹別地区の雑草取り作業などの屋外の作業は中止となったが、設置されたテントの中でマリーゴールドなどの花植え作業を行った。

本事業は留萌人権擁護委員協議会の「人権花いっぱい運動」の共催事業とも位置づけられており、マスコットキャラクター「人KENまもる君」も事業に花を添えた。



人KENまもる君と参加した子どもたち

緑豊かな町へ

～ 苦前町植樹祭 ～

五月二十九日(金)、苦前町と留萌南部森林管理署、留萌中部森林組合、苦前林産振興会が主催の平成二十一年度木霊謝恩塔例祭と植樹祭が行われた。

木霊謝恩塔例祭は、あらゆる生活に消費された木材に感謝するもので、古丹別緑が丘公園内の木霊塔前で例祭が行われた。

植樹祭は旧力昼小学校隣地で林業関係者や地元力昼の住民、苦前保育園、古丹別保育所の園児など約百名が参加し、エゾヤマザクラ百三十本が植樹された。将来的には力昼地区で桜祭りができるくらいの名所となることを願いながら参加者は植樹に汗を流した。



標柱を建てる森町長と園児たち

田植えに

チャレンジ

五月二十五日(月)花井秀昭さん(岩見)の水田で、古丹別小学校(石村直幸校長)、苦前小学校(八谷芳博校長)の五年生三十二名が学社融合事業の一環である田植え体験授業を行った。当日は晴天に恵まれたものの、少し肌寒い気温であつたが半ズボンに半袖裸足という姿で花井秀昭さんと農協青年部らの指導のもと水田に足をとられながらも、徐々に馴れ楽しみながら取り組んでいた。

今回田植えを行ったのは四月に初まきをした「ななつぼし」の苗。これからの予定は七月に生育調査、九月の稲刈りを経て十二月には稲作学習発表会を開く予定である。



花井さんの水田で田植えを行う5年生

野山の探検

五月二十六日(火)午前九時から、苦前小学校一年生と二年生二十七人が旧力昼小学校の裏山で林退協の奥山啓四郎さん(古丹別)と吉田義博さん(古丹別)の協力のもと学社融合事業「野山の探検」を行った。

当日は天候にも恵まれたこともあり、虫対策をしつかりして、学年ごとに裏山に登った。ところどころで「みずなら」「ほうのき」「かえで」「トドまつ」等のプレートの付けてある樹木のところで奥山さん、吉田さんの説明を受け真剣に取り組んでいた。子ども達はセミの抜け殻やワラジをみつけては大騒ぎするなど楽しい授業となった。



力昼の山林を探検する苦小1・2年生

学隣林業グループ

が記念植樹

五月十三日(水)、苦前町学隣林業グループ(会員十人、柴田文夫会長)が四十周年の記念事業として古丹別緑が丘公園スキー場ロッジ周辺にエゾヤマザクラを植樹した。この日は会員七人が参加し、筐数を刈り込んだあと、一メートル程の苗木十五本を丹念に植え込んだ。

同グループは、昭和四十四年、九重地区の農家十人の会員でスタートし、その後全町の広がりをみせ、知識の吸収・技術の向上のための研修会や林業先進地への視察など林業技術の習得に努めている。



記念植樹を行った学隣林業グループのメンバー

町営牧場で入牧・

放牧が始まりました

五月十四日(木)、十五日(金)町内十五戸の酪農家より、上平共同利用模範牧場に百八十三頭の牛が入牧され、一週間ほど牛舎周りで慣らし放牧された。

また、二十八日(木)には、一頭ずつ体重測定等が行われ、本格的な放牧が始まった。牛たちは十月中旬まで放牧され、百キロ以上体重を増やして、それぞれの牛舎へ里帰りする。

放牧された乳牛(左)とトラックへ搬入作業を行う職員(右)



横断歩道正しく渡ろう！

青空交通安全教室

5月7日(木)、苫前保育園(青木久美子園長)で青空交通安全教室が行われた。当日は天候にも恵まれ、藤田苫前駐在所長のお話の後、園庭に設置されたミニ交差点で園児は手をあげて横断歩道の渡り方の指導を受けた。

また、5月13日(水)には古丹別保育所(川森のり子所長)で交通安全教室が行われ、前日の雨の影響で園庭の状態が悪かったため、屋内運動場での実施となったが、信号機の見方と横断歩道の渡り方を仮設の信号機を使って学習した。

横断歩道の渡り方を学ぶ
古丹別保育所の園児たち



振り込め詐欺に注意！

啓発活動実施

5月11日(月)、留萌信金苫前支店、同古丹別支店、苫前郵便局、古丹別郵便局にて春の地域安全運動の一環として振り込め詐欺防止啓発活動を行った。

苫前町防犯協会工藤博朋副会長、苫前駐在所藤田所長、古丹別駐在所鈴木巡査部長、羽幌警察署生活安全課職員が各金融機関前にて来客者に対しチラシを手渡し、振り込め詐欺警戒を呼びかけた。

苫前郵便局の前で
啓発活動を行う工藤副会長ら



風車ウォーキング～春～

5月17日(日)午前9時から上平ウィンドファームにて、親子や友人ら27人が参加のもと風車ウォーキングが行われた。恒例となってきたこの事業は上平の町営牧場内1周4.8kmのコースを廻るもので、前日までの肌寒い日とは違って当日は汗ばむほどの好天に恵まれ、場所によってはブヨに悩まされていたが、フキやワラビ等の山菜を採る人など自分たちのペースでウォーキングを楽しんだ。

ウォーキングの後にはふわつとで食事会が行われた。



マイペースでウォーキングを楽しむ参加者

町政報告会開催

5月15日(金)午後3時30分から公民館にて各地区町内役員等45人が参加し、町政報告会が開催された。

報告会ではAED設置、個人設置型浄化槽整備事業、古丹別地区公共下水道、住宅リフォーム補助などの平成21年度主要施策や国の緊急経済対策事業のほか、とままえ温泉ふわたの指定管理者公募開始、広域火葬場の今後の状況、生き生き出前講座の活用呼びかけ、苫前厚生クリニックの2階部分活用策の検討などについて、森町長や担当課長から説明のあと、意見交換を行った。

参加者からは、力昼地区における地上デジタル放送についての質問などが出された。

公民館で開催された
報告会の様子



6月 町税の納期

今月は、
町道民税
の納入月です。

納期内納入にご協力願います。



苫前地区のごみ拾いを行う子どもたち

五月九日(土)午前十時から苫前町子ども会連絡協議会(早川日出利会長)主催によるクリーン作戦が子ども会のメンバーの他父母、老人クラブ、婦人会、保育園児など約三百人が参加し、町内一円で行われた。冬期間の空き缶類やたばこのポイ捨てと思われるごみが目立った。

子ども会クリーン作戦

三重県桑名市(旧長島町) 議会行政視察来町

五月十二日(火)、十三日(水)三重県桑名市議会(堀良二議長外五名)が来町し、夕陽ヶ丘ウインドファーム、上平グリーンヒルウインドファーム、三溪羅事件復元現地、長島神社、郷土資料館などを視察した。

来町に併せ、桑名市無形文化財「桑名の千羽鶴」の贈呈があった。「桑名の千羽鶴」は町長室に展示されている。

「桑名の千羽鶴」は一枚の紙から数羽の連続した鶴を折る独特の連鶴。江戸時代桑名の長円寺の住職魯縞庵義道(ろうこうあんぎど)によって考案された連鶴で二羽から九十七羽の鶴を一枚の紙に切り込みを入れるだけで繋いでいく方法で折るもの。



堀議長より桑名の千羽鶴を受け取る森町長

絵本の読み聞かせと アフリカンドラム演奏会

五月十七日(日)公民館において、幼児からお年寄りまで約八十人が参加し、絵本の読み聞かせとアフリカンドラム演奏会が行われた。

出演したのは札幌の太鼓奏者いいたともきさんと仲間三人、読み聞かせボランティア「にじいろ」の二人。「かたあしだちようのエルフ」など動物が登場する物語の読み聞かせでは、動物の気配や足音をドラムが巧みに演出し、思わずあたりを見回す子ども達もいるほど。

ジンベとジュンジュンの演奏と歌、踊りが披露され、参加者を誘っての踊りでは、足のステップや手の動きの練習からしだいに早くなるリズムに、全身を動かして汗ばみながら楽しいひと時を過ごした。



本の読み聞かせ(右)とアフリカの踊り体験(上)

地域社会貢献事業

北開建設工業株

四月二十九日(水)に、苦前西団地に隣接する教員住宅敷地内の不要木を撤去し、整地していただきました。



不要木の撤去が終わり整地された様子

苦前建設工業株

(織笠輝磨社長)

五月六日(水)に、古丹別小学校の老朽化した校門を撤去していただきました。



崩れた校門を撤去する職員

「文芸」

苦前町文芸を語る会

(短歌)

早春の光の精の如くにも憩う旅路の白鳥の群
怒気も弱気も包みて閉じるチェリリップの赤より朱き日の沈みゆく
古丹別 木幡とく子

いらひらと公園坂に桜花祭りのあとの静けさのなか
庭の花手折りし夫の優しさを母に添えつつリラ冷えの朝
古丹別 大矢根亮子

うす紅に霞める四方の芝桜そのまん中にわが影を置く
芝桜疑心暗鬼の胸ぬらと敵める想ひの風がそよ吹く
札幌市 住吉 美恵

思惟ひとつ抱きし胸のきざあとを優しき春の雨が舐めゆく
生かされるバイオの薔薇のその棘に刺されし指の先の鮮血
古丹別 桑 風

春風に おごる季の 花盛る
そよ風に 寂しくゆれる 名残花
古丹別 林 千代美

(俳句)

花の香に 誘われ歩む 狭き庭
(文責・大矢根)

川柳
足腰は 弱いが口は まだ達者
使い道 色々迷う 給付金
山菜に 我が家の車は 春の宴
春眠が 過ぎてメタボは 意気盛ん
五月晴れ 後期の腰に 万歩計
(文責・鎌田)

古丹別 運上 吉雄
古丹別 小島 信子
古丹別 斎数 範章
古丹別 関 範章
古丹別 謙田 信夫

古丹別 謙田 信夫

山の緑も 火災から 守ろう

最近全国的に山火事や野火が多発しております。
 苫前町でも近年山火事や野火が発生しておりますので、
 山に入る際は火気の使用は極力避けるようにしましょう。



悪質な訪問販売が多発する時期になりました。
 消火器や住宅用警報器について、消防や役場では斡旋はしておりませんので、十分注意願います。

山に入った際は、たばこの投げ捨てはやめましょう。山を守るのも愛煙家のマナーです。

火事・救急は119番!

北留萌消防組合消防署 苫前支署 ☎64-2321
 // 古丹別支署 ☎65-4119

暮らしぶりの映し～北の光が続く道～

萌える天北オロロンルート



▼ルート内の取り組み

■第2回萌える天北オロロンルートフォトコンテスト巡回展を開催中です。
 【巡回展スケジュール】
 ●6月1日(月)～6月8日(月) とままえ温泉ふわっと
 ●6月9日(火)～6月18日(木) 苫前町公民館
 ●6月20日(土)～7月5日(日) 東神楽メモリアルホール(全道フォトコンテスト)巡回展スケジュールと受賞作品はホームページにも掲載されています。
<http://rumoifan.net/moeten/>

オーナーが決定しました!

▼「ひらめ底建網オーナーin遠別」のオーナーが、5月17日(日)の富士見ヶ丘公園開きえんべつ山菜まつりで決定しました。
 詳細はホームページをご覧ください。
<http://rumoifan.net/hirame/2009/>
 主催：ひらめ底建網オーナーin遠別実行委員会

▼「タコ箱漁オーナー2009inおびらファイナル」のオーナーが、5月31日(日)のうまいよ! るもい市(いち)で決定しました。
 詳細はホームページをご覧ください。
<http://takobako.net/>
 主催：タコ箱漁オーナーinおびら実行委員会

留萌管内6月のイベント情報

【遠別町】
 6月20日(土)…ひらめ底建網オーナーin遠別
※先月号の記事の中で誤りがありました。ここにお詫ひして訂正いたします。
 鮎の開催 6月21日(日)
 鮎の開催 6月20日(土)

【留萌市】
 6月28日(土)…うまいよ! るもい市
<http://rumoi-rasisa.jp/>

お問い合わせ
 ■萌える天北オロロンルート運営代表者会議事務局(エフエムもえる内)
 電話 0164-42-3871 FAX0164-42-2200
 メール tenpoku-ororon@moeru.fm
 ■るもい管内の情報が満載! るもいfan.net
<http://rumoifan.net/>

介護保険・福祉 Q&A

要介護認定の申請について

【質問】

要介護認定される状態と思いますが、介護サービスの利用はまだ考えておりません。いつ介護が必要になるかわからないので、今のうちに申請しておこうと思うのですが…。

【答え】

要介護認定は、介護サービスを1割の自己負担で利用するためのものですので、介護サービスを受ける必要がないうちは申請する必要はありません。また、元気なうちに申請してしまうと要介護度も低く認定されてしまい、実際に介護が必要になったときに相応のサービスが受けられなくなるということも考えられますのでご注意ください。

したがって、健康な方はもちろん、要介護認定される状態であっても家族の介護や親族の援助で足りていて事業所からのサービスは必要としない方や、入院中で退院の目途が立っていない方(介護保険対応の病床を除き、入院中は介護保険のサービスは利用できません)は申請の必要はありません。

お知らせ

介護保険で次の軽減等の認定されている方は、有効期間が6月末までとなっており7月以降も軽減を受けるためには、新たに申請していただく必要がありますのでご注意ください。

■【負担限度額の認定】

介護保険施設等を利用される方の施設利用等に係る居住費(滞在費)・食費の負担の軽減

■【社会福祉法人による利用者負担の減額】

低所得者のうち特に生計が困難な方に対して、町内の社会福祉法人が提供する介護サービスの利用者負担を10%から7.2%に軽減します。

お問い合わせ 苫前町役場町民課しあわせ係
 0164-64-2215 (内線227) まで